



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 松谷 一夫

仙台市青葉区大町1-2-2

電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406



2016年 ユネスコ憲章成立70年に想う

会長 松谷 一夫



あけましておめでとうございます。2016年の正月を迎え、民間ユネスコ発祥の地仙台での設立70周年記念大会もあと1年となり、テーマも『発祥の地仙台から世界へ“UNESCO憲章の理念を未来に”』という副題に落ち着いております。仙台の地で民間ユネスコ運動が世界で初めて設立された「ユネスコ協力会設立の主旨」を見ますと、「ユネスコは過去の平和維持の方法としての各種の政治的経済的取りきめだけでは、完全に戦争を防止し得ないこと、真に不動の平和の基礎は人間の心の中に先づ打ちたてなければならないことの認識から出発し、…」とあります。このような主旨にもかかわらず、昨年はユネスコ精神に反し、政治的に利用されたことが起こりました。私たちは国際条約によって運営されている世界遺産登録などを審議する「ユネスコ」と「民間ユネスコ」を同一視され大変な逆風にさらされました。政治的に利用した人々に、ただ反発するだけでなく、今、冷静に行動する必要が求められております。世界平和を目指す先人達の理想に燃えて立ち上げた、「戦争は心の中で生まれるものであるから、心の中に平和の砦を築く」ことがますます重要になってきていると思います。

さて、1957年に建設された仙台ユネスコ会館は先の東日本大震災によって大きく傷み、調査の結果危険な建物と判断され、60年余民間ユネスコ運動のシンボリック存在の建物でありましたが、取り壊さざるを得ず、非常に残念です。一時的にこの地を去りますが、皆様のご協力を得て再建したく存じます。今年も民間ユネスコ運動にご協力とご支援をよろしく願いいたします。

2016年1月以降の行事

第18回「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展

- 2016年1月5日(火)～10日(日)
- 東北電力グリーンプラザ



第72回(2016年度)日本ユネスコ運動全国大会 in 沖縄

持続可能な平和のとりでを築こう！

～命どう宝～

- 2016年6月25日(土)～26日(日)
- 申込締切：2016年4月20日
- 沖縄コンベンションセンター



“11枚の書きそんじハガキでひとりごと月学校に” ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。



書きそんじた郵便ハガキをご寄付ください。送れなかった52(50)円ハガキは1枚につき47(45)円の募金に変えることができ、11枚あつまれば、カンボジアではひとりごと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

会員募集 あなたも参加しませんか！

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています！

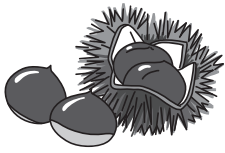
団体会員(一口)	年会費	20,000円
個人会員(一口)	年会費	5,000円
青年部会員(一口)	年会費	2,000円

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	108
個人会員	179
青年部会員	12
合計	299

(2015.12.31現在)

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。



10～12月の活動実績



●2015/10/5 せんだい地球フェスタ2015



国際協力、国際交流の活動をしている団体の祭典「せんだい地球フェスタ2015」が仙台国際センター展示棟で63の団体の参加で盛大に開催されました。

仙台ユネスコ協会も昨年に続き参加、ブースへの沢山の来場者を迎え、充実のうちに活動を終わることができました。

ブースでのおもな活動内容は「ユネスコ協会紹介のポスターおよびチラシ」「寺子屋運動他活動紹介のチラシ」などによる活動紹介、加えて来訪者に参加してもらおう平和の祈りの「折り鶴」や「短冊へのメッセージ」、さらに今回は初めての試みでしたが「ゆかたの着付け体験」を実施しました。

折り鶴では子供連れの親子がたくさん訪れ、終日な



ごやかな姿がとても微笑ましい情景でした。

とくに、今回はボランティアながら指導に入っていた森竹律子さんの「羽根を広げた鶴」が人気で、完成したときの子供達の満足げな顔が印象的でした。

日本のゆかたの華やかな色どり、新鮮さが目を引き、絶え間なく外国の方が訪れ、カップルや男性も試着、二度三度と複数回転のゆかたもあったほど。合計19名の外国人の方が参加されました。（奥村 静剛）

●2015/10/21～22 奈良平安時代に学ぶ

6回目の今年は10月21・22日の両日、参加者90余名と共に地域遺産を学習しました。

初日は仙台文学館で「塩竈に憧れた平安人～光源氏のモデル源融をめぐる～」東北大学高度教養教育学生支援機構 佐藤勢紀子教授の講演、続いて「多賀城にある源融物語」多賀城市観光協会 高倉敏明事務局長の講演を聞きました。

翌日は貸切バスで宮城野区向田文化財整理収蔵室、多賀城市浮島神社、源融を祀る大臣宮神社を参拝、昼食は塩釜マリゲートで海鮮丼を楽しみました。

午後は塩釜ユネスコ協会のご協力で、「NPOみなとしほがま」の3名が説明して下さり、鹽竈海道を散策、浦霞向拝、御釜神社、歌碑、裏坂、表坂、塩竈神社をまわりました。最後に大正ロマン感じる海商の館「旧亀井邸」見学、ここで松谷会長から修了証書をひとりひとりに



とりに手渡され、和気あいあいのうちに帰途につきました。

今回も講師各位の専門的且つ熱心な説明が受講者に十分伝わり、実り多い地域遺産の研修会になったと思っております。（鈴木 かつら）

●2015/10/30
第4回 ユネスコスクール大会 東北大会

10月30日(金)、Rice プロジェクト発表会・第4回ユネスコスクール大会東北大会・第5回ユネスコスクール大会宮城県大会が行われ、日ごろRiceプロジェクトに取り組んでいる国内外の学校の発表があり、ユネスコスクールの実践と成果を学びました。ユネスコスクー

ルで活動に取り組む、高校生や中学生の発表もありました。持続可能な開発のための教育(ESD)の動向やユネスコスクールの理念について理解を深め、東北地方におけるユネスコスクールのより一層の活性化につながっていくことでしょう。
(市瀬 智紀)



●2015/11/10
第18回「絵で伝えようわたしの町のたからもの」審査会 無事終わる



ユネスコこども絵画展「絵で伝えようわたしの町のたからもの」は、第18回を迎えました。今年も、こどもたちが伝えていこうとする、地域の宝物を見つけ、イキイキと描き、表現した絵が、小学生169点中学生48点、合計217点集まりました。

審査会は11月10日午後1時からユネスコ会館3階ホールにて行われました。今年から審査委員長

となられた柴田慶夫氏を始め、当協会会長を含む7名の審査委員で審査しました。客観性と公平性に基づき、かつ熱心に審査され、宮城県知事賞他22の賞と5名の佳作が決まりました。

いずれの作品も甲乙つけがたく、悩みながらの審査でした。審査委員長からは、入賞者一人一人への講評もありました。

(佐浦 公美)



新聞掲載情報

掲載：河北新報2015年11月16日

仙台ユネスコ協会忘年会

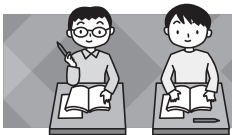
12月17日、青葉区大町にあるスペイン料理の美味しいお店「ラ・サルテン」で、仙台ユネスコ協会会員の忘年会が開かれました。

松谷会長からの、「会員同志のつながりを持って、これからの仙台ユネスコ協会を盛り上げていきましょう」とのあいさつ後、乾杯により開始されました。

一人ひとりの参加者による一言スピーチに一年の計をねぎらいながら、楽しい会となりました。参加者は20名でした。



A newspaper clipping from the Hokkaido Shimbun (Nov 16, 2015) featuring an article titled '苦難乗り越え会館建設' (Overcoming hardships, building the association building). The article discusses the challenges of building a new association building and mentions the '仙台ユネスコ協会' (Sendai UNESCO Association). It includes a photograph of the building and a small photo of a group of people. The article is signed by '長谷川正人' (Masahito Hasegawa).



学生部だより



留学生交流会 (12/20・仙台国際センター)



松谷一夫会長



及川美聡青年部長



12月20日、仙台国際センターにて留学生交流会を行いました。この留学生交流会は、留学生・日本人学生が日本文化の一つであるお正月を体験することを通して、互いの文化への理解を深めることを目的とし、3年前から継続して行っています。今回は、タイ、ペルー、アメリカ、台湾、カンボジア、スイス、中国と様々な国からの留学生17名、日本人20名の計37名の方が参加しました。内容としましては、日本の代表的なお正月遊びを交えたすごろくゲームや、シルバー

センターの方から教わるしめ縄づくりを体験し、お正月の食文化を代表するお汁粉とお雑煮を食べ、年賀状を書いたりするなど、日本のお正月文化を体験することができました。この交流会は異文化理解のさらなる手助けとなり、日本と他国のつながりを作る良い機会となったと思います。

来年度以降もこの交流会が国際理解の観点から平和の砦を築き上げていくと信じ、続けていきたいと思ひます。

(青年部 浅場 理佳)

奈良教育大主催 ESD実践勉強会(10/17~18)

玉川大学主催 第2回ユネスコクラブ全国サミット(11/28)

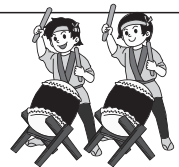
青年部は全国のユネスコ活動を行う青年との交流を図り、新たなつながりを作ることを目的とし、全国のイベントへ研修に行っています。10月17~18日に奈良県立野外活動センターで行われたESD実践勉強会に学生2名、11月28日に玉川大学主催の第2回ユネスコクラブ全国サミットに3名が参加してきました。ESD実践勉強会では「古都奈良からみらいへ」というテーマに沿って様々な活動をESDの観点から学んできました。主催の奈良教育大学の学生からは活力と団結力

を感じ、各々の役割に責任と自信を持って活動している姿が印象的でした。ユネスコクラブ全国サミットでは、全国のユネスコクラブ(大学でユネスコ活動をするサークルの総称)の活動を知ることができ、青年部とは異なるユネスコクラブという組織と交流することで、改めてユネスコ協会の青年部という組織を見直すことができました。今回の研修を通して青年部の更なる発展へとつなげていきたいです。

(青年部代表 及川 美聡)

平成27年度 青葉女子学園運動会 みせろ!青葉魂

10月8日、風がとても強い日でしたが青葉女子学園の運動会に招待されて参加しました。競技「徒競走」「紅白対抗リレー」などのほか来賓、園生、保護者と一緒になって「玉入れ」「障害物競走」など種目がありました。



この日のために2月頃から練習を重ねてきたという園生の「ぶち合わせ太鼓」の演技は、園生全員のチームワークで見事に息のあった太鼓の打ち合いとなって、波の音のように「ドーンドーン」と聞こえました。

来賓者を含めると80人くらいの参加者の中、一緒に汗をかいて無事に終えることができました。(小泉 知加子)

【編集委員】

- 委員長：千葉 雅保
- 副委員長：小泉知加子/兼平 敏子
- 委員：伊達 洋子 水上 健治
- 山田 武彦 篠原 裕子
- 菅原 京子 黄海富寿雄
- 戸室 輝信

【編集後記】

会報「仙台ユネスコ」449号をお届けします。10月から12月の行事も目白押し。ユネスコ協会ならではの交流企画がたくさんありました。平和の大切さを参加して改めて感じるものばかりです。留学生交流会では、お正月文化を体験する内容で、楽しいひと時でした。今年もおしるこ雑煮が振る舞われ「おいしい」との参加者の声でした。よりよい会報にするため、編集にご意見ご感想などどんどんお寄せください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(副編集委員長 小泉知加子)

1年(平成27年)12月24日(木曜日)

仙台ユネスコ協会青年部

若い世代 国際交流 活動拡大

35歳未満に上限上げ

F B活用 情報発信も

国際教育科学文化機関(ユネスコ)の活動に協力している民間組織「仙台ユネスコ協会」(仙台市)の青年部が、交流活動を活性化させている。本年度、大学生で構成していた学生部を青年部に改称し、参加対象を35歳未満に拡大した。留学生と日本人学生の交流を促進、交流サイト「フェイスブック(FB)」による情報発信など取り組みの幅を広げている。

東北六 国際教育科学文化機関(ユネスコ)の活動に協力している民間組織「仙台ユネスコ協会」(仙台市)の青年部が、交流活動を活性化させている。本年度、大学生で構成していた学生部を青年部に改称し、参加対象を35歳未満に拡大した。留学生と日本人学生の交流を促進、交流サイト「フェイスブック(FB)」による情報発信など取り組みの幅を広げている。

掲載：河北新報 2015年12月24日